

五戸総合病院での研修をおえて

(平成30年6月研修医)

順天堂大学医学部附属浦安病院

研修医 豎山美沙

約1か月前、八戸駅から五戸総合病院に向かう車の中で期待と不安を抱えながら五戸町の街並みを眺めていました。順天堂から五戸総合病院への初めての研修医ということもあり、「今まで大学でしか研修してこなかった自分がやっていけるだろうか」「おじいちゃんおばあちゃんの話す方言はわかるだろうか」と思っていたことが懐かしいです。

私は内科研修を希望したため内科外来や内視鏡・超音波検査、病棟業務に携わらせていただきました。また訪問や診療所での診療など、地域を支える医療の在り方について興味があり、内科研修に加えてそれらを柔軟に研修させていただきました。これまでの研修生活で経験することのなかったことが多く、大変実り多き研修でしたが、なかでも印象に残ったことを2点挙げさせていただきます。

まず1つ目は、新井田先生に連れて行っていただいた『地域ケア会議』です。その会議では、地域住民の健康問題に対して、医療、介護、福祉など様々な方面からのアプローチが議論されていました。これまで私は、自分が担当した入院患者さんが退院後どのように生活しているのか、その後の外来経過をたどる程度しかしていませんでした。しかし患者さんにとっては、家に帰ってからどのようにその町で暮らしていくかが大事であり、それを支えるためには医師だけでなく町全体のサポートが必要であることを実感しました。まさに地域医療の根幹を担う場に参加させていただき、大変勉強になりました。

2つ目は、指導医としてつかせていただいた佐藤先生のお姿です。先生は、病棟では数多くの患者さんを担当しながら、外来・検査業務などもなさいます。朝早くから夜遅くまで多忙を極めているにも関わらず、耳の遠い患者さんのためにももしもしフォンを持参して一人一人丁寧に回診したり、食の進まない認知症のある患者さんに自ら食事介助をしたり、医学的なことだけではなく医療者として患者さんのためになることは何でもする姿勢に大変感銘を受けました。

五戸総合病院で経験したこれらのことを是非今後の自分の医師としての人生に活用させていただきたいと思います。

最後になりましたが、1か月間ご指導いただいた佐藤先生を始めとして、諸先生方、看護師さん、事務の方々におかれましては大変お世話になり、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。